

市政だより



令和8年
5/1号
NO.591

シニア世代のための地域参加講座

～ 小金井市の歴史や文化にふれながら
地場で仲間づくりをしませんか？ ～



内容 地域参加実践談／小金井市の歴史と文化／
市民団体紹介／交通安全／国際交流／
地域福祉／農工大附属科学博物館／野川散策／
江戸東京たてもの園

日時 5/16～6/27 土曜日 午後2時～4時30分（全7回）

場所 前原暫定集会施設など **定員** 30名（初めての方優先）

申込 4月15日から、電話で生涯学習課生涯学習係へ申込

【問合せ・申込】 生涯学習課生涯学習係 ☎042-316-6600

新庁舎・（仮称）新福祉社会館建設事業の 現在の状況について

新庁舎・（仮称）新福祉社会館建設事業については、実施設計完了後、2回の建設工事入札不調を受け、今後のスケジュールを含めた方向性を検討しました。この度、事業の方向性が決まったため、今後の進め方や想定スケジュールについて、お知らせします。

【 実施設計完了後の経過 】

- 令和6年12月に実施設計が完了
- 令和7年 1月に建設工事の1回目の入札 ⇨ 業者から申込がなく中止
- 令和7年 4月に2回目の入札 ⇨ 業者から入札辞退届の提出があったことから中止

【 2回の入札中止後の検討内容 】

現在、建設資材高騰、働き方改革や技術者不足による人件費単価の高騰により工事費は高騰しています。また、建設市場は繁忙期に入っており、全国的に公共工事の入札中止が増加しています。これらの状況を踏まえ、今後の対応に関し想定されるさまざまな方策（①分散庁舎化により建物の延床面積を大幅に縮小するなど、設計を見直す又はやり直す案（7パターン）②現行案③凍結案、計9つのパターン）について、想定される工事規模、想定される工程、メリット・デメリット等の観点から比較検討を行いました。

（裏面へ続きます）

選択肢の②現行案は「建設市場動向を踏まえた上で、現設計に基づき3回目の入札を行う」というもので、他の案とともに検討を行った際に、次のようなメリット・デメリットが考えられました。

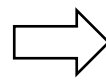
- メリット ・現設計は実施設計まで完了して発注段階にあり、早期建設という現方針に沿う
・全選択肢の中で最も早く建設可能
- デメリット ・財政見通しの懸念

スケジュール上のメリットのほか、現設計はこれまで市民参加の取組を通じてできる限り市民の意見を反映し、また市議会での議論も踏まえたうえで作り上げてきたものであることを踏まえ、財政見通しの懸念さえ払拭できれば、現設計で3回目の入札を行うことが最善と考えました。そのうえで、長期的な財政への影響等を見定めた結果、財政見通しは成立すると判断するに至り、現設計で3回目の入札を行うことにしました。

【 今後の進め方 】

<現在の社会情勢>

- 建設市場は繁忙期
- 全国的にも公共工事の入札不調が増加
- 施工者確保の見通しが立たない



現時点で入札を行っても
入札不調のリスクが高い

以上により、原則として令和8年度中の着工は見送り、建設市場動向を踏まえた上で、令和10年度(可能であれば令和9年度)の着工を目指します。

【 概算事業費 】

建設工事(※1)	174億円
備品、移転費用等	16億円
その他関連事業費(※2)	20億円
<hr/>	
	210億円

- ※ 中期財政計画 令和7年10月(令和8年2月更新版)より
- ※ 今後の建設物価動向等により変更可能性あり。
- ※1 他自治体の事例等を参考に算出した概算額
- ※2 ICT 新規システム導入費等

【 建築計画概要 】

主要用途:庁舎、児童福祉施設
建築面積:約 4,100 m²
延床面積:約 19,000 m²(地下階、ピロティ等含む)
階数 :地上6階、地下1階(庁舎)
 地上3階((仮称)新福祉会館)
構造 :庁舎…鉄骨造(免震構造)
 (仮称)新福祉会館…鉄骨造(耐震構造)
最高高さ:約 27m
駐車台数:109 台(地上 45 台、臨時駐車場 23 台、地下 41 台)
駐輪台数:450 台

新庁舎等建設情報は市ホームページに掲載しています。



【問合せ】 企画政策課企画政策係 ☎042-387-9800